

市民の命を守るがん検診の先進自治体を目指す取組について



滝田 一郎 議員



質問…令和6年度栃木県がん検診実施状況報告書によれば、本市の令和5年度検診率市町順位は、胃がん11位、大腸がん7位、肺がん9位ですが、本市のがん検診の取組について伺います。

答弁…国が推奨する胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診のほか、市独自に胃がんハイリスク検診、前立腺がん検診を実施し

ています。さらに、胃がん検診や乳がん検診、子宮頸がん検診の対象年齢を拡大し、また検診を毎年受診できるようにすることで、より充実した内容にしています。がん検診の自己負担額は近隣市町から見て比較的受診しやすい額となっています。

質問…がん検診率県内1位を目指す考えについて伺います。

答弁…市におけるがん検診受診

率向上は、がんの早期発見、早期治療を進め、市民の健康寿命を伸ばす上で重要な課題であると認識しています。引き続き、対象者への個別通知や市ホームページ、よいちメールで周知することで受診率向上を目指しますが、受診率が低い働き盛りの世代に対しては、職域との連携を図ることでアプローチを強化していきます。

一般質問



秋山 幸子 議員



小中学校体育館のエアコン設置について

質問…耐え難い猛暑の夏、体育館を利用する子供たちにとって、エアコン設置は急務です。小中学校の体育館にエアコンの設置ができないか伺います。

答弁…今年度に入り既存施設で効果を発揮できる機器の選定に向け、検証を行ってきました。これまでの検証結果を踏まえ、機種については設置式のものでほぼ絞り込むことができました

が、現在、設置工法や費用、交付金等の国の財政支援などを精査しているところです。本市としては、空調整備に特化した空調設備整備臨時特例交付金の活用を見据えながら、令和8年度に設計業務に着手し、その結果をもって可能な限り早期に設置工事へとつなげ、おおむね着工後4年間で設置完了できるように準備を進めたいと考えています。

質問…児童生徒が使用する全ての学校体育館を網羅できるか伺います。

答弁…基本的には全ての小中学校を見据えて、今後進めていくところですが、指定避難所となっていない体育館を、どの段階で設置するかというのも含めて、今後検討していきます。